

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・新人スタッフの育成 新人スタッフが多いことで、普段の介護業務に加えて、新人スタッフの教育・状況把握が必要になっています。また、緊急時や変調時など、臨機応変な対応に困難さが伺える。	新人スタッフは、ケアの基礎から会社の理念などの習得を目指す。また現スタッフも、新人スタッフを教育する中で、自分のケアの見直しを実施し、ケアの統一に努めていきたいと思う。	新人スタッフには、教育期間を各シフトにて数日ずつ、先輩スタッフと共に業務にあたる。また、その後も継続したケアの確認を先輩スタッフは実施し、全てのスタッフが同一のケアが実施できるように、スタッフの能力差を失くす。	3ヶ月
2	35	・防災訓練の実施 地震・津波の影響を受ける気域であるため、より実践的な防災訓練が必要に思う。	年二回の防災訓練を実施し、避難経路などの周知を図る。スタッフ間で、各役割を明確にし、非常時に効率的に動くことができるようにする。	防災時、誘導・連絡をだれが実施するのか、シフトなどで割り振りを行い、スタッフ間に周知する。 緊急時の連絡網を作成する。	6ヶ月
3	1	・効率的なケアの統一 ケアの変更点や各個人のケアの方法に相違が生じる時があるため、徹底した情報の統一を図る必要がある。	効率的なケアを実施し、入居者様の安全確認や、負担の少ないケアを実施できるように、スタッフ間のケアに対する姿勢や業務内容の統一を図る。	報告・連絡・相談を管理者と密に行い、全てのスタッフが変更内容などを確認できるように、申し送りノートなどを活用していく。また、業務内容はタイムスケジュールを作成し、必要な情報は確認しやすい箇所に掲示する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。